



# ジェッソ

じえっそ



## 概要

ジェッソは、アクリル系樹脂エマルジョンを媒体にした地塗り剤で、チタニウムホワイトと炭酸カルシウム等の体質顔料をアクリルエマルジョンに混合した白色の乳液状の液体です。主に地塗り剤として、支持体の目止め、絵具の定着、発色の補助の役目を果たします。さらに強い隠蔽力があり、また絵具のように色材としても使用できます。また、ジェッソを塗った上からアクリル絵具だけでなく、油絵具や水彩絵具で塗ることもできます。元来、テンペラ画等の下地として用いられていた石膏地をイタリア語で Gesso (ゲッソ) といいました。後に白亜地も含めた地塗り剤全般を称し、今日ではこのアクリル系白色目止め地塗り剤を指します。

一般的な使用方法として、原液か原液に 20% 位の水を加えたものを、刷毛やローラー等で数回方向を変えて重ね塗りをします。一度に厚塗りをせず、薄く何度も塗り重ねることで、白色堅牢でマットな質感の下地ができ、サンドペーパーをかければ平滑にもなります。ただし、その時の注意として、油性キャンバス、また油絵具で描かれた上からの使用は避けましょう。また、支持体が吸収性の強い場合は、アクリル系メディウム等で目止めする必要があります。

ジェッソの種類には基本の白色と、有色のカラージェッソがあります。有色下地は、アクリル絵具の混用でも作ることができます。他に、体質顔料の粒子の大きさにより、地肌の異なる下地を作ることができます。

ジェッソは、一般的な画材店で購入できます



コンクリート 木材 キャンバス裏 (麻布部分)

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A  
B  
C  
D  
E  
F  
G  
H  
I  
J  
K  
L  
M  
N  
O  
P  
Q  
R  
S  
T  
U  
V  
W  
X  
Y  
Z  
数字

## 使用例 1 ジェッソで下地を施す (木製パネルの場合)



手順 1. ジェッソは使用前によくかき混ぜましょう。



手順 2. 木製パネルや木材などに塗布する場合は、ジェッソが定着しやすいように軽くやすりなどでこすっておきます。



手順 3. ジェッソを刷毛にとり、薄く全体に塗ります。1～2時間ほど乾燥させ、さらに重ね塗りをします。一度に厚塗りをせず、薄く複数回行うことで、強くなめらかな下地を作ることができます。

## 使用例 2 ジェッソで下地を施す (裏キャンパスの場合)



手順 1. キャンパスの裏 (麻布部分) を支持体とする場合も、同様にジェッソを数回に分けて薄く塗り重ねていきましょう。

## 使用例 3 ジェッソで下地を施す (コンクリートの場合)



手順 1. コンクリートやモルタルなどの吸水性の非常に高い支持体には、まずグロスポリマーメディウムを使って支持体の目止めをします。



手順 2. メディウムをよく乾燥させてから、その上にジェッソを塗り重ねていきます。